



# しののめYMCAこども園 園だより

2016年度11月号

発行者：こども園園長 堀江和広

聖句「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

11月の聖句「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」

ローマ信徒への手紙 第12章15節

今年の運動会は、残念ながら天候に恵まれず、中学校の体育館で行いました。練習してきたすべての競技を披露する事は出来ませんでした。どの園児も笑顔で、一生懸命取り組んでくれたと思います。保護者の皆様方には、ご理解ご協力と共に、当日に温かい声援を送って下さった事、改めて御礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

さて、何度か日本を代表するサッカー関係者の方とお話をする機会があり、代表選手をどのような視点で選考するのかを伺った事があります。一番目はやはり、高い技術力を有している事でした。代表選手のレベルになれば当然、個人のスキルが超一流なのは当たり前のことです。次の視点は、何なのだろうかと強く関心を持っておりました。その答えは「人間性すなわち人柄」だという事でした。

トップレベルの選手たちは、幼少期から人一倍努力をし、チームメイト同士の競争に勝ち、レギュラーポジションを得て、選手として活躍していきます。時に怪我やアクシデントに遭いそれを自身で乗り越える事もあったかと思えます。日本代表として選ばれるには、私たちが想像する以上の試練と努力、言い換えれば、そこには他者との、自分との熾烈な闘いがあったのだと思います。「人間性＝人柄」の意味を尋ねてみると、『感謝の気持ち』を持っているかどうかと言う点でした。『両親・監督・コーチ・チームメイト、すべての人が居たからこそ、今の自分が存在し、日本代表としてピッチに立てる』…そういう『感謝の気持ち』だそうです。

「人を蹴落とし、自分が！自分が！」と言うのでは無く、人の気持ちを理解し、支えてくれる人が居る事に気づき、さらに感謝する気持ちを持っているか、それが最後の重要な視点であると言う事でした。『ありがとう！』とても短いことばですが素敵なことばです。大切な意味がいっぱい詰まっている『ありがとう』を、素直に言える心を育んでいきたいと感じています。

園長 堀江和広